



次世代のものづくりを支える ESG 活動

～火星探査プロジェクト学生応援～

ハイウィン株式会社（本社：兵庫県神戸市西区、代表取締役：林育志）は ESG 活動の一環として、当社の製品の提供やインターンシップの実施など、学生や教育現場をサポートする活動を行っています。本ニュースレターではそれらの活動をご紹介します。



学生のインターンシップ受入れ時の様子

【S：社会】ESG 活動について

▼ESG 活動

ハイウィンでは「次世代ものづくりを支える」をスローガンに掲げ、次世代を担う学生のサポートやモノづくりへの興味関心を持つきっかけとなる活動を行っています。ロボット関連のイベント出展、学園祭の企業ブース出展、学生のインターンシップ受け入れなどを実施しています。

活動内容の紹介

▼インターン生の受入れ



概念検証の様子

当社では大学生や高専生のインターンシップを実施しており、現在は主に東京の営業技術部にて安全管理、指導を担当しています。インターン生には「産業用ロボット特別教育^{*1}」を受講して頂き、修了

後は実際に産業用ロボットの概念検証から結果の考察までを行います。インターンシップを通じて、

メカトロ関連の技術職に興味を持つ学生もあり、講師を務める担当も手ごたえを感じる場となっています。

▼教材として有効活用できる製品を寄贈

工業高等専門学校の教員の方々と綿密な相談を重ね、当社のリニアガイドウェイをはじめとする機械要素部品を提供しました。

提供部材は、廃棄予定品の中から新品同様に使用できるものをリユースし環境負荷低減にもつな

げています。これらは教材として活用されるほか、ロボコン向けのロボットの部材として採用が検討

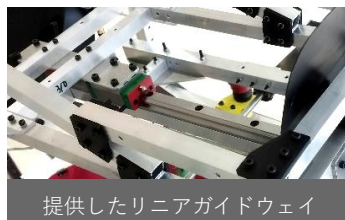
されています。学生たちのアイデアを形にするため、有効に活用していただきました。

▼学生ロボコン出場に向けて

千葉工業大学 精密ロボット工学研究会の学生へ、リニアガイドウェイを提供しました。学生ロボコンへの参加に向け、ロボット製作に活用できる部材を探されている中、問い合わせをいただきました。



2025 年学生ロボコンのテーマであるバスケットボールを行うロボットのドリブル機構に採用されました。



(写真提供：千葉工業大学
精密ロボット工学研究会)

提供したリニアガイドウェイ

学生の火星探査プロジェクト団体をサポート

▼火星ローバーチャレンジへの貢献

URC (University Rover Challenge) *2 出場に向け活動する 2 つの学生団体に対し、リニアガイドウェイとボールねじ、単軸ロボットを提供しました。

■名古屋大学宇宙開発チーム NAFT

/名古屋大学の学生団体

単軸ロボットとリニアガイドウェイを提供しました。掘削・顕微鏡調整に単軸ロボットが使用されています。さらに、ロボットハンドにはリニアガイドウェイを使用した検証が行われる予定です。

(写真ロゴ提供：名古屋大学宇宙開発チーム NAFT)



提供した単軸ロボット

他にも東京大学・東京理科大学が中心の学生団体【KARURA Project】へボールねじとリニアガイドウェイを提供、掘削用のドリルの上下にボールねじとリニアガイドウェイが使用されています。

▼今後の展望：学生や若者の創造性を発揮できる実践的な学びに貢献

宇宙関連産業ではロケットは学びの機会やイベントが豊富な一方で、火星探査はまだ発展途上であり、協賛企業も限られています。しかし発展が期待される分野でもあり、当社では各学生団体の支援に加えコンテストへの支援も視野に入れ、これからも学生や若者の学びに貢献し、サポートを継続してまいります。

<注釈>

*1：産業用ロボット特別教育：労働安全衛生法で義務付けられており、産業用ロボットに係る方が対象で、産業用ロボットを扱うにあたり必要な知識や技能を習得してもらう特別教育

*2：ユニバーシティ・ローバー・チャレンジ (URC) は、大学生を対象とした世界最高峰のロボット工学コンテストで、次世代の火星探査車（ローバー）の設計・製作に挑戦します。2025 年は 5 月 28 日～5 月 31 日の間に開催、日本からは 2 チーム、アメリカ/日本の国際チーム「KARURA」と、日本の「ARES プロジェクト」の参加が決定

本件に関するお問合せ先

ハイウィン株式会社 マーケティング企画課 e-mail: kikaku@hiwin.co.jp TEL: 078-997-8827 (代表)